

災害看護論

単位数（時間数）：2 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：非常勤講師・千島佳也子

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：91

■ 授業概要

災害の概念や災害時の健康障害、災害サイクルに応じた適切な支援を理解し、災害発生時に対応できる基本的な知識を修得できるよう教授する。また、我が国の災害に関する法制度を踏まえ静穏期の防災・減災活動における看護職の役割について学習し災害看護を理解する上での基盤となるよう教授する。急性期、亜急性期、慢性期、復興期の看護に必要となる健康問題への対応策やこころのケアの必要性とその具体的な方法をライフサイクル別の看護を通して教授する。また、災害時における被災者や専門職のジレンマを題材にロールプレイングを行い、「想定外」の出来事への対応について教授する。

■ 到達目標

1. 災害が人々の健康に及ぼす影響を理解できる。
2. 災害サイクル各期における被災者の健康課題と看護活動について理解できる。
3. 静穏期の防災・減災活動における看護職の役割を考察できる。
4. 災害が人々の健康に及ぼす影響を理解できる。
5. 災害時の看護活動の実際を理解し考察できる。
6. 災害時のジレンマに対抗できる想像力を養うことができる。

■ 教育内容

看護の統合と実践

■ キーワード

災害サイクル、トリアージ、災害救助法、ハザードマップ、トリアージ、災害弱者災害救助法

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	災害の理解① —災害医療の基礎—	災害/災害看護の定義、災害の種類と被害・ 疾病の特徴、避難行動要支援者について学 ぶ。（講義）	千島
2	災害の理解② —災害に関する法や制度—	災害に関する社会の対応や仕組みを学ぶ （講義）	千島
3	災害の理解② —災害時被害予測と防災・減災対策—	盛岡市で予測されるハザード（地震・津波、 台風等）および被害予測に基づいた防災・ 減災の取り組みを学ぶ。（講義/グループ ワーク）	千島
4	災害サイクル各期における健康問題と看護活 動①（超急性期）	災害サイクルについて学ぶ。災害サイクル の超急性期・急性期（災害発生1週間以内） における救命活動/トリアージとその法的 根拠/災害派遣医療チーム（DMAT）での 看護活動について学ぶ。（講義）	千島
5	災害サイクル各期における健康問題と看護活 動②（亜急性期）	災害サイクルの亜急性期（災害発生1ヶ月 以内）における避難所で生じやすい健康問 題と看護活動救命活動について学ぶ。（講 義）	千島
6	災害サイクル各期における健康問題と看護活 動③（復旧復興期・静穏期）	復旧復興期（災害発生1ヶ月～3年）に被 災者に起こる健康問題（PTSD、生活不活発 病など）と看護、支援者の心理とその支援 について学ぶ。（講義/演習/課題レポー ト）	千島
7	災害時の公衆衛生活動	公衆衛生看護学の立場から、災害サイクル 別の保健師活動、災害時健康危機管理支援 チーム（DHEAT）およびその役割について学 ぶ。（講義）	千島

8	災害時の不安対応と心理的応急処置 PFA (サイコロジカル・ファーストエイド)	深刻な危機的出来事に見舞われた人々に対して、支援者が心理社会的支援を提供するためのガイドラインを、被災者が現状以上の被害を受けないように安全や安心を確保し、尊厳や文化に配慮しながら支援を行うための枠組みを学ぶ。(講義/演習)	千島
9	災害時に活動する様々な保健医療チームとその調整について	我が国の災害時の保健医療福祉体制について知り、被災地で活動する様々な保健医療福祉チームの種類と調整された支援の重要性について学ぶ。	千島
10	人道支援の必須基準	支援を行う上での支援者としての姿勢を学ぶ。	千島
11	災害時の看護活動① －子どもや親への看護/高齢者への看護－	危機的な出来事に直面した子どもに必要なChild-Friendly-Spacesから被災した子どもに必要な支援について学ぶ。 被災した高齢者の心理的特徴や健康問題の特徴を捉え、避難所や応急仮設住宅での支援と看護について学ぶ。	千島
12	災害時の看護活動② －外国人への支援－	外国人への具体的支援方法について学ぶ。	千島
13	災害時の保健師活動 －支援者支援、健康危機管理等－	被災自治体職員への支援等の支援者支援の重要性について学ぶ。 公衆衛生看護学の立場から、災害時の健康危機管理について学ぶ。	千島
14	近年の災害事例	近年の災害による支援チームの具体的な活動や課題について学ぶ。	千島
15	災害を生き抜くためのグループワーク	災害事例をもとにグループで対応を検討・発表をする。 ●レポート課題提出	千島

■ 履修条件

特になし。

■ 成績評価方法

最終レポート 50%、リアクションペーパー内容 20%、演習 30%

レポート課題：大規模災害事例の問題について、その予防・低減のため看護職が果たす役割について述べなさい。

*レポート作成にあたり剽窃等が認められた場合は、評価の対象としない。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

- ・課題レポートのフィードバックはコメントを付して返却し行う。
- ・期末試験は、試験後に採点基準と解説を Google Classroom にアップロード（掲示）する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
看護の統合と実践 ③ 災害看護

■ 参考書・参考資料等

- ・（公財）日本ユニセフ協会、（独）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所、災害時こころの情報支援センター『子どもに優しい空間ガイドブック（Child-Friendly-Spaces）』
- ・支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク（JQAN）『スフィアハンドブック 人道憲章と人道支援における最低基準』
- ・科発 0705 第 3 号, 医政発 0705 第 4 号, 健発 0705 第 6 号, 薬生発 0705 第 1 号, 障発 0705 第 2 号, 平成 29 年 7 月 5 日厚生労働省大臣官房厚生科学課長, 医政局長, 健康局長, 医薬・生活衛生局長, 社会援護局生涯保健福祉部長『大規模災害時の保健医療活動に係る体制の整備について』
- ・令和元年度地域保健総合推進事業『災害時の保健活動推進マニュアル』
- ・平成 30 年度厚労科研補助金事業『DHEAT 活動ハンドブック本編』
- ・医政地発 0331 第 1 号平成 28 年 3 月 31 日『日本 DMAT 活動要領の一部改正について』

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業 1 コマにつき、事前・事後学修それぞれ 90 分程度必要とする。授業前後の学修内容は授業にて指示する。

■ 担当教員からのメッセージ

災害看護は看護の専門的知識を統合した実践的な学問です。グループワーク等通じて、主体的な個別学修はもとよりメンバーで協力して学びあうことを期待します。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

学務課へお問い合わせください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の实務経験

看護師、災害時の自治体での公衆衛生活動

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

国内外問わず、災害急性期～復興期に及ぶ保健医療活動支援による経験や行政との調整・連携の経験を活かし、専門的で実践的な講義を行います。